

三瓶町



漂流物の廃棄処分についても迅速な対応を

多数発生するなど、台風がもたらした強風による災害が際立っていました。台風による住宅の一部損壊は、28世帯78人となっており、現在もその傷跡が生々しく残っている状態です。

その他、台風16号・18号の影響による農作物の塩害被害、流木などの漂流物（産業廃棄物）の廃棄処分、倒木被害など、その他の災害等についても迅速な対応が求められています。

また、農作物・家畜等を

含めた農業関係の被害額の総額は約1億2千万円強に及びました。



商店街の中まで海水が浸水

明浜町

台風16号（8月30日）、台風18号（9月7日）と2度の台風の直撃を受け、特に、18号は明浜の柑橘産業に甚大な被害をもたらしました。

当日は、時速30kmの暴風が吹き荒れ、沿岸にぶち当たった波は、高さ30mを超えるものもあり、その波（潮）が暴風にあおられ霧状の潮風となって山の頂上まで届き、柑橘に降りかかりました。明浜全域の山が、赤く染まり塩害の甚大さを示しています。なお、当日の雨量は高山地区で125mmでした。塩害を受けた果樹は、被害の度合いによって落葉、落果、最悪は枯れてしまいます。被害額は概況で、果実の落果、品質低下による減収額3億6千4百万円、木が枯れたりする樹体被害額3億6千6百万円、合わせて7億3千万円に上っています。

野村町



塩害で真っ赤に枯れたみかん畑

農業施設災害の状況です。延長2百40メートル巾30×40メートルにわたって押し流されたものです。次の写真は、西予市野村町高瀬地区における山留崩壊による道路が寸断され通行止め状況です。



愛野地区ライスセンターに土石流

西予市野村地区における台風10号及び16号による災害の状況は、農業関係で22件4億7百万円、林業関係63件3千3百99万4千円、公共土木関係で66件2億8千20万円で合計351件7億2千19万4千円と甚大な被害となっています。

写真は、西予市野村町野村地内愛農地区ライスセンター下の土石流による

宇和町

台風16号の災害状況について
台風16号の襲来時は大潮の期間と重なり、広範囲の地区において家屋の浸水被害等が発生しました。

具体的な被害状況は、床上浸水が2世帯7名、床下浸水が104世帯215人にも及びました。

台風18号の災害状況について
住宅の一部破損などが

10号・16号・18号

大暴れ

城川町

今年は大型台風が、各地に大きな爪あとを残しました。進行速度が遅く、近年にない暴風雨で、倒木による停電、電話の不通、通行止め等々、町内のライフラインが寸断されました。非常時の連絡法、避難場所の確保、災害弱者の把握と誘導など万全の対応に課題を残しました。NTT・電力会社等への連絡先確保、消防団への出動要請と連絡方法の確認等に再確認を要する点も浮き彫りとなりました。

また、城川地域の被害の特徴は倒木が多かったこととあります。特に近年、森林整備事業として間伐の推進、作業道の開設に力を入れてきましたが、各地でそれらの多くが被災しました。今後とも高齢化・過疎化が進む地域で森林の持つ多面的機能を保持、増進するために、被災林地の改植、広葉樹の植栽など今後の森林整備事業に対して支援が不可欠であります。



高瀬地区の山留崩壊現場



伊延地区の大きな地滑状況



下流の民家を土石流が襲う



無残な森林整備事業で整備された森林